

悪性腫瘍における全ゲノム解析とその臨床応用の可能性

座長： 徳島大学病院 消化器・移植外科学
島田 光生 先生

演者： 国立がん研究センター研究所分子腫瘍学分野
片岡 圭亮 先生

日時： 2018 年 9 月 28 日 (金) 11:50 ~ 12:40

会場： 第 4 会場 (大阪国際会議場 10 階 1001)

過去 10 年の間で、次世代シーケンス技術を用いた大規模シーケンス解析により、多くの悪性腫瘍において、遺伝子変異、コピー数異常、構造異常、融合遺伝子など様々な新規の遺伝子異常が同定されてきた。その結果、これらの腫瘍における遺伝子異常の全体像が明らかとなっただけでなく、数多くの治療標的や診断・予後予測のバイオマーカーとなり得る遺伝子異常が同定されてきた。最近まで、これらの試みの多くは全エクソン解析や RNA シーケンスを用いて行われてきたが、これらの方法では構造異常など一部の体細胞異常を検出することが困難である。そのため、最近では、あらゆる異常を検出可能な全ゲノム解析を用いた多数例における遺伝子解析研究の報告が相次いでいる。本発表では、このような最近の全ゲノム解析の成果について概説し、その臨床応用の可能性について探索する。

■ セミナーに関するお問い合わせ先 contactJPN@illumina.com

■ ランチョンセミナー整理券配布について

場所：大阪国際会議場 5F ホワイエ 日時：9 月 28 日 (金) 7:30 ~ 11:20

- ・ランチョンセミナーは整理券制です。(配布は当日のみとなり無くなり次第終了です。)
- ・事前予約された方は、参加受付にて発券いただけます。予約のない方はランチョンセミナー整理券配布デスクにて、上記日程にてお一人様につき 1 枚ずつ配布いたします。
- ・整理券はセミナー開始後無効となりますのでご注意ください。